



★スケジュール 子どもにフィットしていますか?★

スケジュールは、子どもが1日や1時間の授業に見通しをもち、主体的に活動するために大切なものです。スケジュールは学校の中、授業の中でごく当たり前のように提示されるようになってきましたが、子どもが本当に理解できているか、分かって行動できているものになっているかが大事です。また、子どもの認知の仕方や見え方等に合わせてスケジュールの形を調整することが必要です。あわせて、子どもが知りたい情報が入っているとスケジュールを見ようとする気持ちも変わってきます。これは、いろいろな形のスケジュールの一例です。子どもの理解に合わせてスケジュールの提示方法は異なります。今一度自分が関わっている子どものスケジュールを見直してみませんか。



1日のスケジュール
朝の支度や授業の
予定などが時系列で
提示されています。
終わった活動のカード
はおしまいポケット
に入れて次の活動を
確認できます。



授業の予定だけでなく、
いつ遊べるかがわかるように
休み時間も入っています。

黒地に白のカードのスケジュール。
視覚的に弱さ(見えにくさ、とらえにくさ)があるお子さんにとって、図と地の関係は、とても大切です。
白は光を反射し、黒は吸収します。ブラックボードの場合、背景は黒なので光を吸収し、扱う教材が浮かび上がり、見せたいものを効果的に見せることができます。



一度にたくさんのごことを理解するのは難しいです。
次に何をするか、どこへ行くのかを理解できるように一つだけを提示します。
もしくは、これをした後は何があるか 2つを提示して短い見通しを示します。



体験入学にご参加いただきありがとうございました

きのかわ支援学校での授業を体験したお子さんの様子や感じたこと等を就学先、進学先を考える一つの参考にしてください。

1回だけでは不十分なので‘もう一度体験したい’等のご要望がありましたら、随時受け付けますので、教育支援部までご連絡ください。

きのかわ支援学校 教育支援部 寺尾、宮本
TEL:0736-42-0415

